

1. 木田宏教育資料について

(2) 岐阜大学における木田宏オーラルヒストリーの記録

岐阜大学総合情報メディアセンター
興戸律子・村瀬康一郎

岐阜大学における「木田宏教育資料」の原点は、平成6年(1994)1月8,9日に岐阜大学から後藤忠彦, 村瀬康一郎, 加藤直樹の3名の教員が木田先生のお宅にお邪魔をして, 先生が所蔵されていた膨大な書籍, 自作原稿等の資料の一部を箱に詰めて岐阜大学に送られたところから始まりました。

当時興戸は, 教育学部附属カリキュラム開発研究センターの教務補佐員として資料整理のお手伝いをしていましたが, 文部事務次官を経て, 国立教育研究所の所長, 日本学術振興会理事長を歴任された木田宏先生の資料を岐阜大学で預かることになったいきさつについては, よく存じませんでした。

今回, このいきさつを後藤先生に伺いましたら, 次のようなお話をしていただきました。

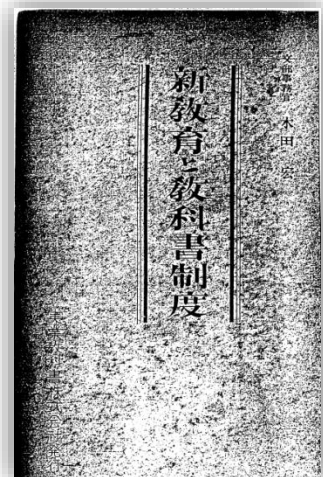
私(後藤)が木田宏先生と初めてお会いしたのは, 昭和59年に国立教育研究所で行われた「昭和59年度教育情報センター構想に関する調査研究会」だったと思います。

当時岐阜大学(後藤)では, FAIRS-I(富士通, 京都大学等が研究・開発した文献データベース)を用いて日本語の教育情報データベースの開発を進めていました。以前から, 故大塚明郎先生(科学教育学会長), 故手塚晃先生(埼玉大学教授, 元研究助成課長)から, 学制百年記念事業として計画している我が国の教育情報センターを昭和48年頃から準備を進めてきているが, 未だに動いていないので, ぜひ我が国の教育情報データベースの開発を手伝ってくれないかとの話がありました。^{1) 2)}

会議の後で, 国立教育研究所の所長であった木田宏先生と所長室で話をしていた, 木田宏先生の著書リスト(450件くらいだったと思う)を見せられ, その中に“新教育と教科書制度”がありました。そこで, このような戦後の貴重な資料がある木田宏文献リストを国立教育研究所が今後作成す



木田先生のお話を聞く会にて(岐阜大学)



1) SIS-TEM IVの項目ライブラリの構成(1), 後藤忠彦, 岐阜大学教育学部附属カリキュラム開発研究センター, 岐阜大学カリキュラム開発研究センター研究報告 Vol.2 No.1, 1982年, pp14-32

2) 教育文献資料検索システム“EDMARS-GIFU”, 後藤忠彦・豊吉律子, 岐阜大学教育学部附属カリキュラム開発研究センター, 岐阜大学カリキュラム開発研究センター研究報告 Vol.2 No.1, 1982年, pp33-50

る教育文献データベースに記録してはどうですかと言ったと思います。

さらに、“新教育と教科書制度”（昭和24年）は、貴重な書籍であり、ぜひ、この本の保管をすべきで、可能であれば電子ファイリングシステム（現在のスキャナーで文書を読み込みデジタルで保存する書類保管システム）で保管されたいかがですかと話したと思います。（“新教育と教科書制度”の本は、酸化して茶黒くなっていて、保存が危険な状況であったため。）

その後、国立教育研究所に教育情報システムの設置が決まり、岐阜大学が昭和56年から開発していた教育情報システムを当時の国立教育研究所にソフトウェア・データともにすべてを移設しました。（その理由は、当時の汎用コンピュータは導入にあたって、システムとして動くようにするためには、半年～1年の作業が必要であるが、すぐにもどうか稼働したいとの要望もあり、岐阜大学の教育情報システムのソフトウェア・データを移設することになりました。）

当時（昭和60年1月）、岐阜大学の教育情報システム及びデータを磁気テープ数本に記録し、国立教育研究所へ送り、カリキュラム開発研究センターの加納豊子さんと数名の学生の協力で東京目黒の国立教育研究所まで行き、インストール作業を行いました。この人たちのお蔭で、一週間くらいで本格的に稼働し、今でもよくやっていただいたと感謝しています。

教育情報システムのお披露目の式だったと思いますが、当時の参議院の柳川覚治さん（元文部省体育局長）と岐阜大学の協力に対し、感謝の意として銅のメダルを頂いた記憶があります。（この銅メダルは、海外のお客さんに渡すもので、国内の人に渡すのは初めてのことです。）

その後、木田宏先生とは、よく国立教育研究所の所長室で雑談をして、その中で（いつ頃かは覚えていませんが）木田宏先生からご自分の文献リスト（約450件）を「後藤さん、頼みますよ！」と渡されました。そして「書いたものを少し（紙）ファイルして、保管している」と話されました。「それでは、デジタル化し、データベース化しましょうか」と申したところ、「後藤さん、少し整理しないといけないですね」とのことで、話は終わったと思っていました。私も、戦後の教育改革、とくに教科書、教育委員会制度など大切な情報だと思いつつも日常の忙しさにかまけて忘れていました。

その後、木田宏先生とは日本教育情報学会の設立等によく（年に数回）お会いしていましたが、時々どのように資料保存すればよいかの話や、いろいろ昔の話が出ていましたので、木田先生はご自分の資料の整理作業を進めておられるなと感じました。話の中で時々、「中島さん（文部省時代からの秘書（セクレタリー））にお願いし、古い資料を探しているのだ」と言われていました。（後から気付いたのですが、資料の整理をかなり本格的に進めておられました。）

2～3年後に「分野別の整理をどうすればよいか困っている」との話があり、岐阜大学で本格的に木田宏教育資料の整理を進めることになりました。

その後、数回打合せをして、まず木田宏先生の文献資料のリストを作成することになり、平成6年1月に岐阜大学へ関連資料が送られました。その量は、ロッカー3本分（資料保管用にロッカーを新調したため、ロッカー3本分という表現で覚えています）で、岐阜大学カリキュラム開発研究センターのセンター長室に保管しました。

また、この木田宏先生の資料とは別に、木田宏先生とお会いすると、毎回戦後の教育改革の時代の話がされ、大変重要な話が出てくるので、記録しておく必要性を感じ、先生の文献資料を用いてその当時の話をさせていただくことをお願いしました。ところが、「官僚であった者は、自分の仕事を話して残さないのが慣習である」と言われ、きちんと整理されている先生のお姿からすると意外な言葉であると同時に

に妙に納得したことを覚えています。

しかし、その後、東京でのある会議後にあった、東京倶楽部での食事のときに木田先生か私のどちらが言い出したか記憶にはありませんが、文献資料の整理に合わせて当時の話をして下さることになりました。

それから1～2年の時間をかけて、話をしていただくための資料整理をカリキュラム開発研究センターの加納豊子さん、興戸律子さんらの協力で進めました。まず、「自作原稿」と書かれているファイルから、3部ずつコピーを作成し、印刷資料のための原稿を作成しました。このファイルには、日付順に、私的な祝辞なども含め、書かれた文書がきれいに保管されていました。不足している資料は秘書の中島さんをお願いし、送っていただくという大変な作業が始まりました。

一方、木田宏先生は、戦後の文部省で国定教科書から検定教科書、新しい教科書制度を担当されておられたので、このような教育の基本的な事項である教科書、教育委員会、高等教育などについて話を聞く機会をぜひ大学の関係者にも広げたいと思い関係の教員に参加を呼び掛けました。

(これが大学の教員には大変役立ったのですが、オーラルヒストリーの構成としては良くなかったと後から反省した。大学の先生方はどうしても質問や意見が出てしまい、木田先生の話を引き出す点で問題点が多々あった。)

平成7(1995)年11月29・30日に第1回の会が岐阜大学カリキュラム開発研究センター長室で始まり、それから平成10(1998)年1月31日の5回まで、木田宏先生に岐阜大学にお越しいただき、お話を伺いました。その後、岐阜女子大学で、平成16年までオーラルヒストリー、教育資料の整理を進めました。

私(後藤)が平成11年(1999)3月に岐阜大学を定年退職し、岐阜女子大学へ移ってから、再整理を行い、木田宏先生に全体的な話を再度お願いしました。それを1枚のDVDにまとめたのが「木田先生を偲ぶ会」で提供した「木田宏オーラルヒストリー」です。このDVDの制作は、当時の文部科学省大臣官房と松下教育研究財団(現パナソニック教育財団)の協力を得て、岐阜女子大学の谷里佐さんが作成を担当しました。

木田宏先生が平成17年6月27日(2005年)に永眠(享年83歳)される前から、先生は自分の保管している図書・資料を岐阜女子大学へ提供するので利用して下さいとの話が何度もあり、平成16年に岐阜女子大学から谷さんはじめ多くの学生が市川市の自宅へお邪魔をして、発送作業を行いました。

その時、木田宏先生は、「新教育と教科書制度」昭和24年3月などを学生に見せて、「これは僕が君達ぐらいの年に書いた」と言われ、学生を驚かせました。木田宏先生は若い人たちが好きで「僕の資料を若い人達に役立てさせて下さいよ。」とよく私に言われていました。「また、オーラルヒストリー木田宏教育資料のDVD(「木田先生を偲ぶ会」で提供する前のDVD)を孫に見せたい。」と嬉しそうに話されていた顔を今でも思い出します。(平成17年3月頃岐阜市のグランドホテルで行いましたDVD完成祝いの



木田宏オーラルヒストリー (DVD) (岐阜女子大学)

会でも、岐阜県教育委員会に出向されていた若い猪股志野課長に話かけ励まされていました。本当に若い人の成長を楽しみにされていました。)

その後、木田望さん(木田宏先生のご長男)の厚意で、他のノートなども含め貴重な資料を提供していただき、岐阜女子大学に我が国の戦後の貴重な教育資料が整備できました。

現在、木田家から提供された資料は、木田宏教育資料、木田文庫として、岐阜女子大学図書館に保管し、岐阜女子大学の学生・院生等が利用し、卒論・修論および大学・教師教育用の各種教材として活用されています。(後藤忠彦・岐阜女子大学学長)

岐阜大学における木田宏先生のお話を聞く会

お話を聞く会は、第1回を平成7(1995)年11月29・30日に岐阜大学カリキュラム開発研究センターのセンター一長室で開催し、それから平成10(1998)年1月31日の5回まで、2年2ヶ月に渡って、木田先生に岐阜大学にお越しいただき、お話を伺いました。

その後は、岐阜女子大学において、平成16年までオーラルヒストリー、教育資料の整理を進め、再度木田先生に全体的なお話をお願いしました。

それを1枚のDVDにまとめたものが「木田先生を偲ぶ会」で提供した「木田宏オーラルヒストリー」です。このDVDには岐阜大学でお話しいただいたものと重なるものがありますが、これは、岐阜大学で行っていた座談会形式の場合、参加者から質問や意見が出てしまい、オーラルヒストリーの構成としては、木田先生の話を引き出す点で問題があったということです。

岐阜大学における
木田宏先生のお話を聞く会

第1回 平成7年11月29・30日
第2回 平成8年5月21・22日
第3回 平成8年9月4・5日
第4回 平成8年11月22日
第5回 平成10年1月31日

平成16年6月27・28日 岐阜女子大学
「木田宏オーラルヒストリー」

第1回 木田宏先生のお話を聞く会

第1回目のお話を聞く会は、平成7年11月29・30日に行われました。その時の様子が右の写真です。このように岐阜大学の教員も参加して座談会の形式で話を伺いました。木田先生は、簡単なメモをお持ちで、その項目に従って、何年何月に、誰が、どこで、何をしたかと詳細に順序よく話されていました。後で整理する私たちにとっては、確かな記憶で話された内容をそのまま文章化することができ、さすがこれまで素晴らしい仕事をされた先生だと思いました。

また、この時は、岐阜県から、日本教育情報学会が、図書館の機能に関する調査を委託事業として引き受けていましたので、岐阜県立図書館にも訪問され、いろいろご覧になられました。

お話を聞く会が終わりますと、担当の加納さんが、テープ起こしをした原稿とそれに関する執筆された原稿を丁寧にひとつひとつ印刷の原稿となるように作業をしていきました。

木田宏先生のお話を聞く会
第1回 平成7年11月29・30日

The poster includes four photographs: 1. Mr. Kimura Hiroshi walking outdoors. 2. Mr. Kimura Hiroshi sitting and talking. 3. A group of people sitting around a table in a meeting. 4. A person standing in a library or bookstore.

木田宏教育資料1～昭和20年代初期～

その後に来上がった木田宏教育資料1の内容は、第1回でお話しされた戦時中の体験や、文部省に入省してから担当された憲法、民主主義、教科書制度等の対談内容とそれに関する、青少年新憲法読本、新教育と教科書制度、教科書制度の動向についての資料が収められています。「新憲法読本」や「新教育と教科書制度」の書籍は、酸化して茶黒くなっており、保存が危険な状況だったものを印刷しました。

第2回 木田宏先生のお話を聞く会

第2回目のお話を聞く会は、平成8年5月21・22日に行われました。第2回は、木田先生が文部省で力を注がれた教育委員会制度の導入と定義についてお話になりました。この時はとても朗らかなご様子でお話しになっておられました。

話が始まる前に、第1回で作成した教育資料を電子化してPDAに登録し、木田先生にお見せしました。とても興味深くご覧になっておられました。

教育資料2～昭和25年から昭和34年～

教育資料2には、第2回でお話しされた、教育委員会制度の導入と定着についての対談内容が収められており、アメリカの教育委員会や学校を視察に行かれた経験や、市町村の教育委員会について話をされています。

また、1950年から59年までの10年間の文献資料が収められています。


第3回 木田宏先生のお話を聞く会

第3回目のお話を聞く会は、平成8年9月4・5日に行われました。今回の内容は、大学問題への取り組みについて、大学制度の変遷や国連大学の母といわれるエリザベス・ローズ夫人についてお話されています。いろいろなエピソードを臨場感あふれる語り口でお話しなり、聞いている者が皆その話に引き込まれていたことを記憶しています。

GRIFF UNIVERSITY

木田宏教育資料1 ～昭和20年代初期～

- 昭和20年代初期における教育について(対談)
～憲法、民主主義、教科書制度等～
- 青少年新憲法読本
- 新教育と教科書制度
- 教科書制度の動向



GRIFF UNIVERSITY

木田宏先生のお話を聞く会 第2回 平成8年5月21・22日



GRIFF UNIVERSITY

木田宏教育資料2 ～昭和25年から昭和34年～

- 教育委員会制度の導入と定着(対談)
- 木田宏教育文献資料(1950年～1959年)



GRIFF UNIVERSITY

木田宏先生のお話を聞く会 第3回 平成8年9月4・5日



教育資料3～昭和35年から昭和51年～

教育資料3には、第3回でお話しされた、大学問題への取り組みについての対談内容とその関連資料と、1960年から76年までの17年間の文献資料が収められています。

第4回 木田宏先生のお話を聞く会

第4回目のお話を聞く会は、平成8年11月22日に行われました。今回は、文部省で担当された分野についてのお話で、社会教育局長のときの大学開放講座、社会通信教育、技能検定などについて、また体育局長のときには学校給食などについてお話になりました。

このときは、岐阜大学の金城学長が懇親会に参加され、にこやかに歓談されていました。

教育資料4～昭和51年から昭和53年～

教育資料4では、第4回でお話しされた社会教育、体育、国際化等の諸問題についての対談内容と終戦後、昭和21年レンパン島で読まれた安倍能成文部大臣の米国教育使節団に対する挨拶文、大学行政の動向と課題の資料や、1976年から78年までの3年間の文献資料が収められています。わずか3年の間に400ページをこえる多くの資料を残されています。

第5回 木田宏先生のお話を聞く会

第5回目は、第4回から1年2か月後の平成10年1月31日に行われました。岐阜大学で行われた最後の回となりました。

この時は、岐阜県教育委員会からも出席され、お話の内容は、7年間所長でおられた国立教育研究所の研究内容について、お話になられています。

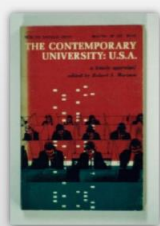
教育資料5～昭和54年から昭和55年～

教育資料5では、第5回でお話しされた、国立教育研究所時代についての対談内容と医科大学など、その関連資料や、1979年から80年までの2年間の文献資料が収められています。

GRIJ UNIVERSITY

木田宏教育資料3 ～昭和35年から昭和51年～

- 大学問題への取り組み(対談)
- 対談関連資料
いまこそ大学論を
「大学への期待 サイマル出版会
(1991年3月)」
国連大学の母「文藝春秋(1977年1月)
エリザベス・ローズ夫人
- 木田宏教育文献資料(1960年～1976年)



GRIJ UNIVERSITY

木田宏先生のお話を聞く会 第4回 平成8年11月22日



GRIJ UNIVERSITY

木田宏教育資料4 ～昭和51年から昭和53年～

- 社会教育、体育、国際化等の諸問題(対談)
- 対談関連資料
昭和21年米国教育使節団に対する挨拶
安倍能成文部大臣 文部時報7号
科学と独創～日本人の独創力啓発のために～朝倉書房(1979年12月)
わが国大学行政の動向と課題 日本教育行政学会年報20
- 木田宏教育文献資料(1976年～1978年)
- 木田宏刊行物等の一覧

GRIJ UNIVERSITY

木田宏教育資料5 ～昭和54年から昭和55年～

- 国立教育研究所時代(対談)
- 対談関連資料
教育と医療
富山医科薬科大学「開学十周年記念誌」(1985年10月)
教育改善における教育研究の役割
国立教育研究所研究集録第9号(1984年9月)
学習指導要領・入試と教師の教育責任 学校経営(1982年1月)
- 木田宏教育文献資料(1979年～1980年)

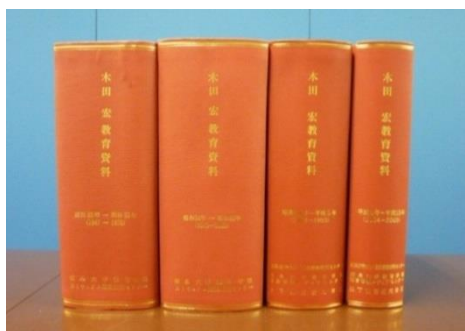
教育資料6, 教育資料7, 教育資料8

教育資料6から8までは、2年ごとの資料を収めています。

この教育資料の整理は、昭和60年までの第8巻（平成11年1月）で、2冊の合本を作成し、岐阜大学での編集刊行は終了しました。

教育資料9～教育資料15

その後、平成11年3月に後藤先生が定年退官され、岐阜女子大学に籍を移されてからは、岐阜女子大学と、松下視聴覚教育研究財団（現パナソニック教育財団）によって、昭和61年以降の教育資料を整理・刊行され、平成16年5月に全15巻として完成に至りました。



教育資料6 昭和56年から昭和57年

- 木田宏教育文献資料(1981年～1982年)

教育資料7 昭和58年から昭和59年

- 木田宏教育文献資料(1983年～1984年)

教育資料8 昭和60年

- 木田宏教育文献資料(1985年)
- 木田宏教育文献資料抜粋(1986年以降)
- 木田宏国会答弁一覧

岐阜女子大学・松下視聴覚教育研究財団(現パナソニック教育財団)により整理・刊行された巻

- 教育資料9 昭和61年から昭和62年
- 教育資料10 昭和63年から平成元年
- 教育資料11 平成2年から平成3年
- 教育資料12 平成4年から平成5年
- 教育資料13 平成6年から平成7年
- 教育資料14 平成8年から平成10年
- 教育資料15 平成11年から平成15年

木田宏オーラルヒストリー

平成11年(1999)4月から、岐阜女子大学において昭和61年以降の教育資料の再整理を行い、平成16年6月27・28日に、木田先生に岐阜女子大学にお越しいただき、全体的なお話を再度お願いし、映像、音声を収録しました。

それを1枚のDVDにまとめたのが「木田宏オーラルヒストリー」です。このDVDの制作は、当時の文部科学省大臣官房と松下教育研究財団の協力を得て、岐阜女子大学の谷里佐さんが作成を担当され、膨大な木田先生の資料のまとめをしていただきました。

木田宏教育資料 DVD 木田宏オーラルヒストリー

- 岐阜女子大学
教育資料の再整理を行う

木田宏先生に全体的な話を再度していただき、文部科学省大臣官房と松下教育研究財団の協力を得て、1枚のDVDを制作する。



以上、岐阜大学における木田宏教育資料の作成について経緯を報告しました。

最後に、木田資料の整理に微力ながら携わることができて、本当に感謝しております。ありがとうございました。